

# 第 24 回 栃木県障害者技能競技大会

## < 1 1 1 > データベース競技課題 A

### 1. 課題

- 1) 競技 A は公開問題であり、競技当日は課題 A の使用の一部を変更して課題 B (競技課題) とする。
- 2) 人材管理システムを、後述する仕様に基づいて作成しなさい。
  - 課題 1. 「会員情報・講座受講歴管理システム. accdb」という名前で、新規にデータベースを作成すること。
  - 課題 2. 新規テーブルへ配布されたデータをインポートし、適切な主キー、インデックス、データサイズなどを設定すること。
  - 課題 3. 各テーブル間にリレーションシップを作成すること。
  - 課題 4. サブフォームを含むフォームを作成し、タブを使った画面を追加すること。
  - 課題 5. 作成したフォームからデータを更新すること。
  - 課題 6. 指定したレポート作成すること。
  - 課題 7. マクロを使用し、メニューフォームを作成すること
  - 課題 8. メインメニューフォームは、データベースを開いたときに、最初に表示されるように設定し、ナビゲーションウィンドウを非表示に設定します。

### 【注意点】

- ※ 1 審判は登録されたデータの有無、使われている ACCESS の機能、可視性 (画面の見やすさ)、操作性 (操作のしやすさ)、機能性 (処理の正確さ) を採点する。
- ※ 2 可視性・操作性とは、審判は操作マニュアルがなくても、操作が可能なことを指すこととする。ただし、Windows OS 基本操作はできることが前提とする。
- ※ 3 審判が採点時においてデータ更新及び印刷処理の前に ACCESS が自動表示するダイアログが表示される場合は、課題毎に減点の対象とする。

### 2. 競技時間

2 時間 0 0 分

### 3. 課題提出方法

競技者は、完成した作品 (未完成作品も含む) を大会主催側の用意する外付けの USB メモリに保存し提出する。なお、作品を保存した USB メモリは、競技時間終了と同時に大会関係者が回収する。

### 4. 注意事項

- (1) 会員データ. xlsx、講座マスター. xlsx、受講歴. xlsx ファイルは事前に配布されるファイルを使用すること。
- (2) 競技中に万一機器が故障した場合は、審査員の指示に従うこと。

- (3) 競技が終了したら審査員に申し出る。
- (4) 競技場での座席位置は、予め審査員が決定しておく。
- (5) ノートやメモ紙、参考図書、CD-R、USBメモリ等の持ち込みは不可とします。
- (注) パソコンに導入が必要なパソコン操作支援技術（ハード及びソフト）を必要とする場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則、競技者自身がパソコン操作支援技術を持参し、前日に競技委員立ち会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこととする。

## 5. 競技会場に準備してあるもの

- (1) O                    S: Microsoft Windows10
- (2) データベース: Microsoft Access2019
- (3) P                    C: Windows PC
- (4) USBメモリ: 8GB以上

## 6. 課題の詳細仕様

課題2. 新規テーブルへ配布されたデータをインポートし、適切な主キー、インデックス、データサイズなどを設定すること。

- (1) Excle ファイル「受講歴.xlsx」データをインポートし、主キー、インデックスを下記表のとおり設定し、テーブル「受講歴」として保存する。

データサイズを下記表の通り設定すること。

フィールド名	データ型	フィールドサイズ	インデックス
管理番号（主キー）	数値型	長整数型	はい（重複なし）
受講日	日付/時刻型	10 (yyyy/mm/dd)	いいえ
講座コード	数値型	長整数型	
会員コード	数値型	長整数型	

- (2) Excle ファイル「会員データ.xlsx」データをインポートし、主キー、インデックスを下記表のとおり設定し、テーブル「会員情報」として保存する。

データサイズを下記表の通り設定すること。

フィールド名	データ型	フィールドサイズ	インデックス
会員コード(主キー)	数値型	長整数型	はい (重複なし)
氏名	短いテキスト型	30	
氏名 (カタカナ)	短いテキスト型	30	
携帯番号	短いテキスト型	30	
メールアドレス	短いテキスト型	30	
生年月日	短いテキスト型	30	

- (3) Excle ファイル「講座マスター.xlsx」データをインポートし、主キー、インデックスを下記表のとおり設定し、テーブル「講座マスター」として保存する。

データサイズを下記表の通り設定すること。

フィールド名	データ型	フィールドサイズ	インデックス
講座コード	数値型	長整数型	
講座名	短いテキスト型	30	
講師名	短いテキスト型	30	

課題3. 各テーブル間にリレーションシップを作成すること。

- (1) 図-1のように、リレーションシップを設定すること。

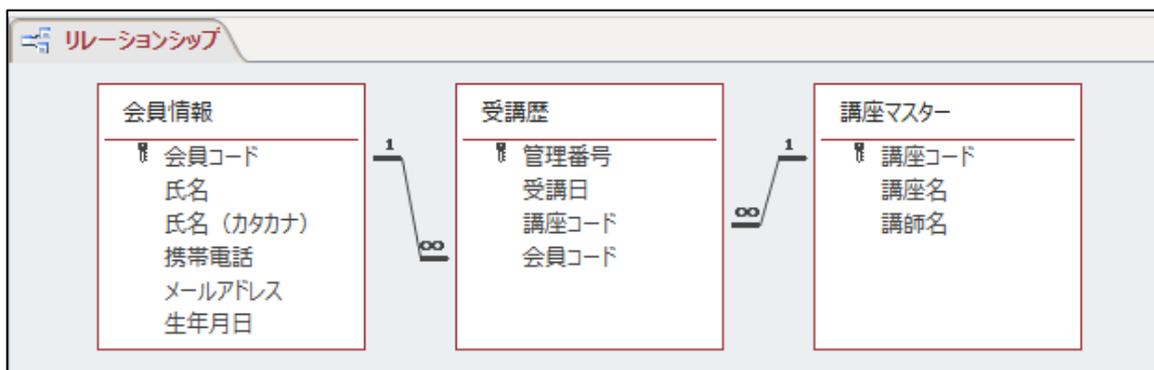


図-1

課題4. 図-2を参考に、サブフォームを含むフォームを作成し、タブを使った画面を追加すること。

(1) 図-2を参考に、フォームを作成すること。

The screenshot shows a web application interface with a yellow background. At the top, there are two tabs: 'メニュー' (Menu) and '会員情報・講座受講歴' (Member Information / Lecture Attendance History). A blue button labeled 'メニューへ戻る' (Return to Menu) is in the top right. Below the tabs, there are two sub-forms: '氏名' (Name) and '連絡先' (Contact Information). The '氏名' sub-form contains a '会員コード' (Member Code) field with a vertical bar icon, and a '氏名' (Name) field with the value '小平 奈菜' (Kohei Nana). The '氏名(カタカナ)' (Name in Katakana) field contains 'コダイラ ナナ' (Kodaira Nana). Below these sub-forms is a table titled '受講歴' (Lecture History). The table has five columns: '管理番号' (Management Number), '受講日' (Lecture Date), '講座コード' (Lecture Code), '講座名' (Lecture Name), and '講師名' (Instructor Name). The table contains seven rows of data, with the last row marked with an asterisk (\*). At the bottom of the page, there are two pagination controls: 'レコード: 1 / 7' and 'レコード: 1 / 29', both with 'フィルターなし' (No Filter) and '検索' (Search) buttons.

管理番号	受講日	講座コード	講座名	講師名
1	2025/05/05	2	体幹ストレッチ	湯澤 哲哉
30	2025/05/06	8	リラックス	八幡 加奈
59	2025/05/10	4	ネイリスト	三鷹 ゆうな
88	2025/05/12	4	ネイリスト	三鷹 ゆうな
117	2025/05/13	12	パソコン入門	鈴木 宏隆
146	2025/05/15	6	アロマセラピー	須藤 未知
175	2025/05/18	2	体幹ストレッチ	湯澤 哲哉
*				

図-2

(2) 連絡先タブを選択すると、図-3を参考に会員情報テーブルの携帯電話、メールアドレス、生年月日を表示すること。

The screenshot shows the same web application interface as Figure 2, but with the '連絡先' (Contact Information) sub-form selected. The '氏名' (Name) sub-form is now hidden. The '連絡先' sub-form contains three fields: '携帯電話' (Mobile Phone) with the value '09043569022', '生年月日' (Date of Birth) with the value '1979/04/09', and 'メールアドレス' (Email Address) with the value 'masanobu414@zxuuoudo.wzn.hoe'. Below the sub-forms is the same '受講歴' (Lecture History) table as in Figure 2. At the bottom of the page, there are two pagination controls: 'レコード: 1 / 7' and 'レコード: 1 / 29', both with 'フィルターなし' (No Filter) and '検索' (Search) buttons.

管理番号	受講日	講座コード	講座名	講師名
1	2025/05/05	2	体幹ストレッチ	湯澤 哲哉
30	2025/05/06	8	リラックス	八幡 加奈

図-3

(3) サブフォームの講座コードはコンボボックスに、講座名、講師名を表示して選択させる。

課題5. 作成したフォームからデータを更新すること。

- (1) 作成したフォームを使用し、会員コードが1、会員名が小平 奈菜の受講歴に下記データを追加すること。
- (2) 受講歴のレッスンコードはコンボボックスに、レッスン名、講師名を表示し、選択すること。

	フィールド名	データ
受講歴	管理番号 (主キー)	210
	受講日時	2025/07/05
	レッスンコード	4
	レッスン名	ネイリスト
	講師名	三鷹 ゆうな

課題6. レポートを作成すること。

大会当日に指定された印刷条件で、レポートを作成し印刷プレビューで確認できること。

課題7. マクロを使用し、メニューフォームを作成すること

- (1) 図-4を参考に、メニューフォームを作成する。
- (2) **会員情報・講座受講歴を表示**ボタンをクリックすると、課題4. で作成したフォームが表示される。
- (3) **講座ごとの受講者一覧**ボタンをクリックすると、課題6. で作成したレポートのプレビューが表示される。
- (4) **システムの終了**ボタンをクリックすると、ACCESS が終了すること。

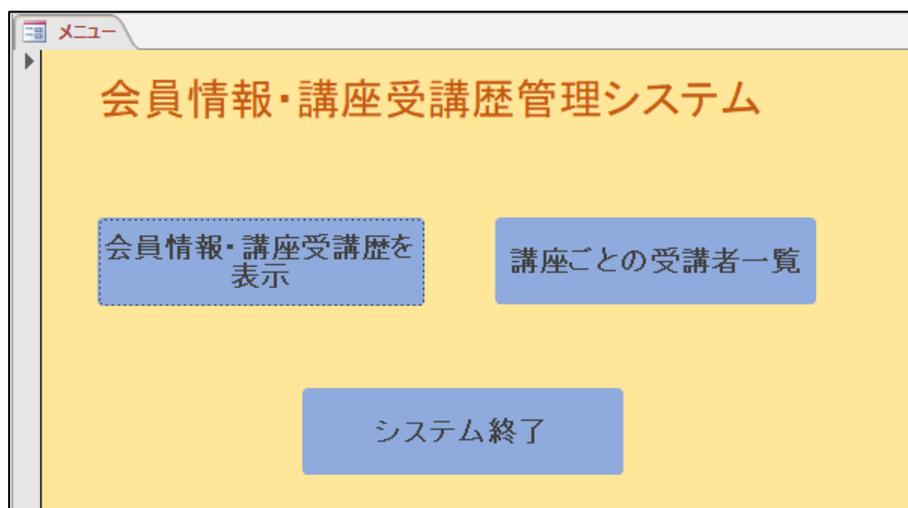


図-4

課題8. 課題7. で作成したメニューは、レッスン受講管理システムを開いたときに、最初に表示されるように設定し、ナビゲーションウィンドウを非表示に設定すること。